

那覇市



那覇市の将来のまちづくり



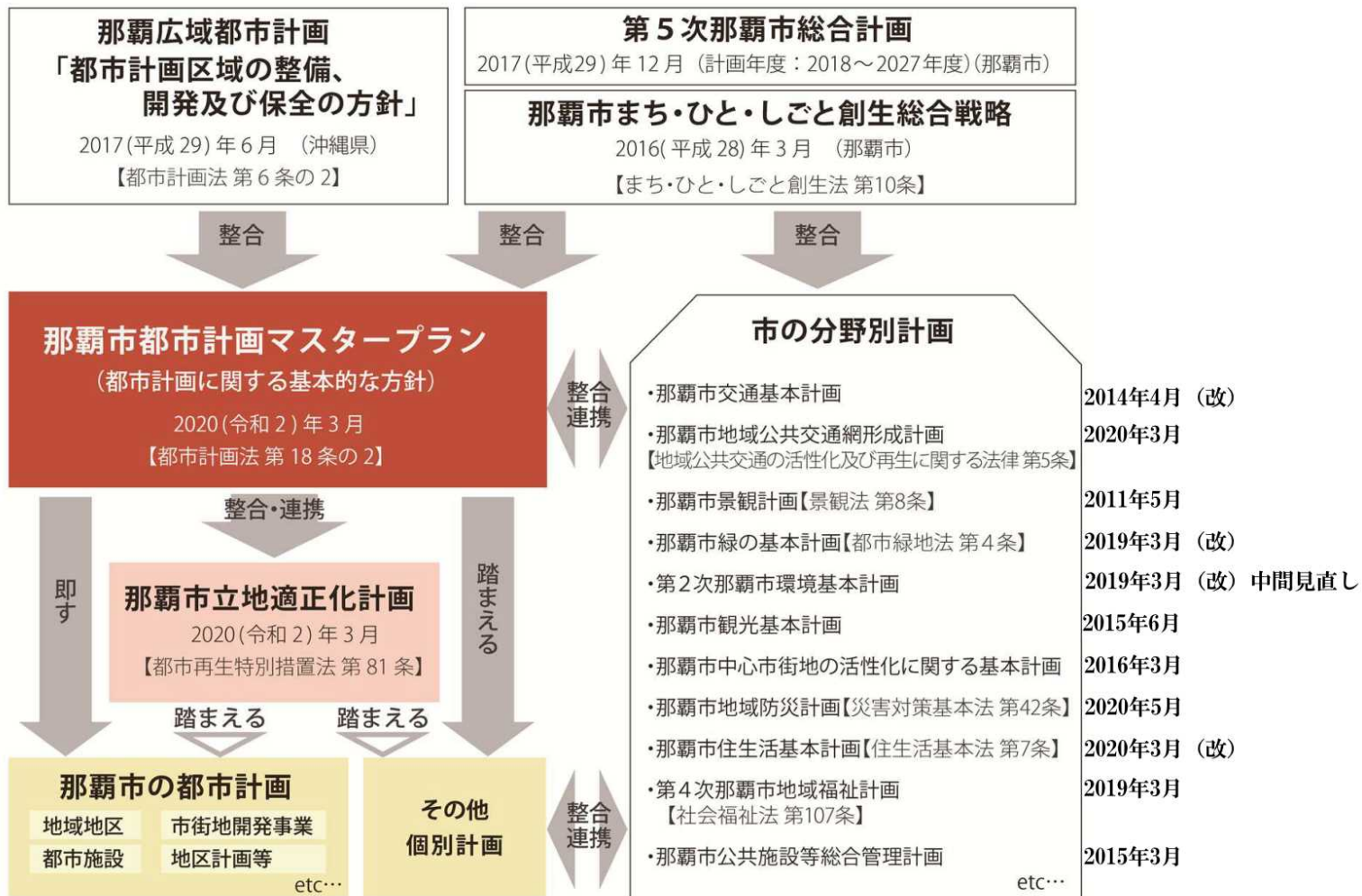
那覇市 目次

1. 上位計画、関連計画について	P1
2. 那覇市都市計画マスタープランについて	P2
3. 分野別計画について	P5
(1) 那覇市交通基本計画について	P6
(2) 那覇市景観計画について	P7
(3) 那覇市景観計画について	P8
4. 那覇市の今後の土地利用の考え方		
(1) 土地利用の方針について	P9
(2) 土地利用状況図	P10



1.上位計画、関連計画について

那覇市のまちづくりの方向性を示す都市計画マスタープランなど、関連計画を以下に示します。



那覇市 2.那覇市都市計画マスタープランについて

那覇市都市計画マスタープラン

那覇市都市計画マスタープランは総合計画の将来像の実現に向け、主にハード面からのアプローチによるまちづくりの目標や方向性を示すものです。

1.まちづくりの目標

第5次那覇市総合計画では、人々が支えあう中で、愛着と誇りを持ち、自慢の那覇市を築いていくため「なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまち NAHA ～みんなでつなごう市民力～」をまちづくりの将来像に掲げています。

総合計画の将来像実現のために、都市計画マスタープランでは市民アンケートやワークショップの意見、本市の課題などを踏まえ、今後20年間(令和2年～)の都市整備に関わる9つの「まちづくりの目標」を定めました。

(1) 魅力あふれるコンパクトなまち



魅力あふれる
コンパクトなまち



だれもが
移動しやすいまち

(2) だれもが移動しやすいまち

(3) みんないきいき暮らせるまち



みんないきいき
暮らせるまち



自然ゆたかな
水とみどりと花のまち

(4) 自然ゆたかな水とみどりと花のまち

(5) 那覇らしい歴史や文化の薫るまち



那覇らしい
歴史や文化の薫るまち

(6) 観光・経済が躍動するまち



観光・経済が
躍動するまち



人と地球に
やさしいまち

(7) 災害に強くしなやかなまち

(8) 人と地球にやさしいまち



災害に強く
しなやかなまち



持続可能な
都市経営ができるまち

(9) 持続可能な都市経営ができるまち

那覇市 2.那覇市都市計画マスタープランについて

2. 将来都市構造

まちづくりの目標実現に向けて、都市を構成する要素を①「ゾーン」、②「都市の拠点」、③「都市の軸」の3つでモデル化し「将来都市構造図」を描きました。

① ゾーン

「ゾーン」は、地域の特徴の面的な広がりや都市の形成において期待される役割を表します。「複合機能ゾーン」、「都市型居住ゾーン」、「庭園型居住ゾーン」、「ウォーターフロントゾーン」、「交易交流ゾーン」の5つに区分し、ゾーンごとの暮らしの実現を目指し、土地利用の誘導を図ります。

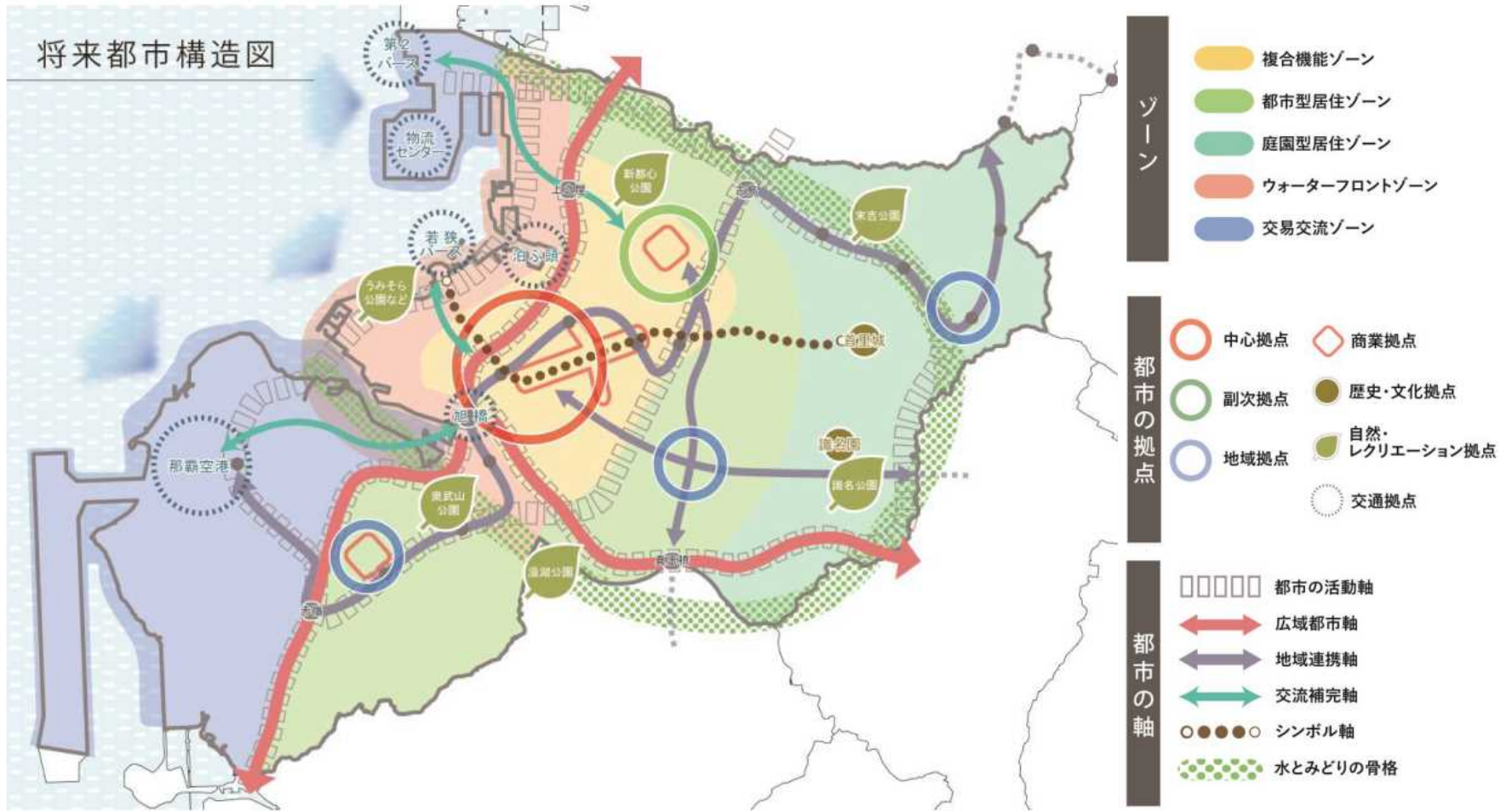
② 都市の拠点

「都市の拠点」は、人・モノ・コトが集積した求心力のある場所を表します。都市機能の集積による「中心拠点」、「副次拠点」、「地域拠点」と、特徴的な商業施設の集積による「商業拠点」、資源の集積による「歴史・文化拠点」、「自然・レクリエーション拠点」、人・モノが交差する「交通拠点」の7つに区分します。体系的な拠点の整備・誘導を行い、持続的な成長・発展や生活の質の向上を図ります。

③ 都市の軸

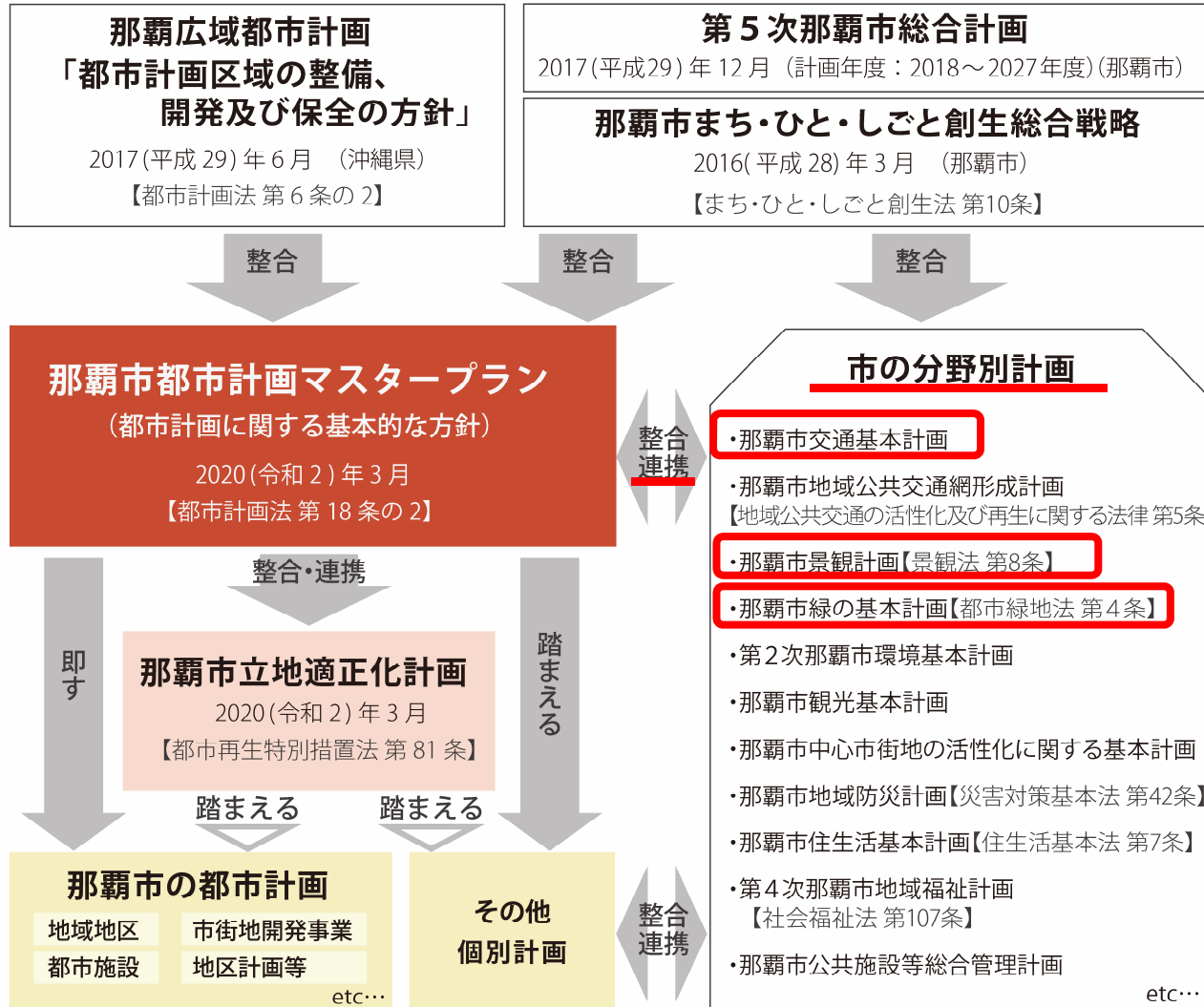
「都市の軸」は、都市の骨格を表します。人やモノの流れのネットワークである「都市の活動軸」、公共交通によるネットワークの「広域都市軸」、「地域連携軸」、「交流補完軸」、本市の歴史的な骨格である「シンボル軸（シンボルロード）」、自然要素による骨格である「水とみどりの骨格」の6つに区分します。それぞれの軸の形成により、都市活動の基盤強化を図ります。

那覇市 2.那覇市都市計画マスタープランについて



那覇市 3.分野別計画(交通基本計画、景観計画など)について

都市計画マスタープランと整合連携を図る、分野別計画から交通基本計画、景観計画、緑の基本計画について説明します。



那覇市 3.分野別計画(交通基本計画)について

(1) 那覇市交通基本計画

那覇市は、様々な交通問題を改善するとともに、本市がめざすまちづくりの実現に向け、交通からまちづくりを支えていくことを目的に「那覇市交通基本計画」を策定しています。

那覇市が目指す交通の将来像

那覇市は、これまでの「車中心のまち」から、「人中心のまち」への転換を図ることを本計画の根幹となる考え方とし、市民・行政・事業者が協働でまちづくりに取り組むとともに、市民一人ひとりの意識改革・努力で「人中心のまち」への転換を図り、那覇市特有の自然や文化が息づくまちづくりを、交通で支えていくことをめざします。

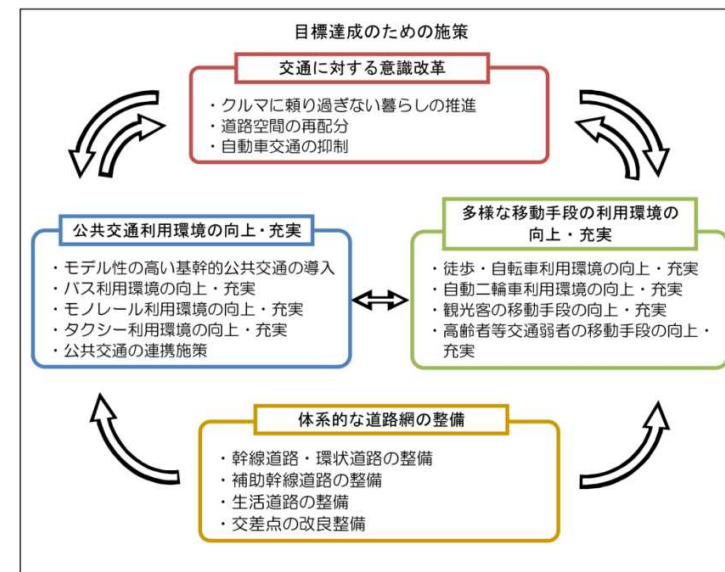


基本目標 『誰もが移動しやすいまちをつくる』

那覇市は、那覇市の抱える交通課題の解消・交通の質向上に向けて、「なはの自然・文化が息づく交通まちづくり～人中心のまちづくりをめざして～」を基本理念として、那覇市総合計画で掲げている施策「誰もが移動しやすいまちをつくる」を基本目標とする。

また、この基本目標に基づく4つの施策の方向を示し、目標の達成に向けて各種施策を展開していく。

- (1) 交通に対する意識改革
- (2) 公共交通利用環境の向上・充実
- (3) 多様な移動手段の利用環境の向上・充実
- (4) 体系的な道路網の整備



那覇市 3.分野別計画(景観計画)について

(2) 那覇市景観計画

都市モノレールの開通及び那覇新都心地区の発展等、社会状況等の変化に対応するため、これまでの実績、基本的理念及び目標などは継承し、かつ、本市の上位・関連計画や土地利用方針に整合した、市内全域における、きめ細かい景観の方向性を定めた、景観法に基づく「那覇市景観計画」を策定しています。

那覇市の景観の理念

『みんなで継承、みんなで作る「亜熱帯庭園都市」なはの景観』を景観計画の基本理念に設定します。

「亜熱帯庭園都市」という表現は、昭和15年頃来琉した民芸運動家の文章を基につくられ部門別計画にも多く用いられ定着しています。

「亜熱帯庭園都市」＝「都市基盤や都市景観が、亜熱帯特有の自然や歴史、文化環境に調和した緑ゆたかな庭園のようなまち」の景観再生を基盤に、新しいまちづくり、市民との協働による景観まちづくりの活動を広げていくことが大切です。

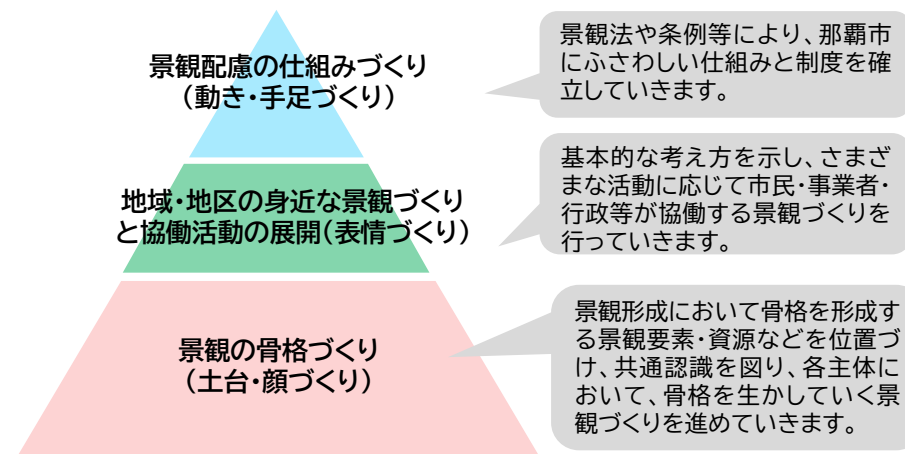


那覇市の景観の基本目標

理念の実現に向けた目標と景観づくりの取り組みの柱となる考え方を以下に定めます。

- (1) 固有の風土をいかした景観をつくる
- (2) 固有の歴史・文化(王都)を守り、いかす景観をつくる
- (3) 国際的な交流・交易、観光都市機能を持つ県都として風格のある景観をつくる
- (4) 地域の資源や生活文化などをいかした景観をつくる
- (5) 市民との協働による景観づくりの活動を広げる

景観づくりの取り組みの柱



那覇市 3.分野別計画(緑の基本計画)について

(3) 那覇市緑の基本計画

本市では、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、那覇市の貴重な緑を保全・創出・活用し、県都としての風格と、潤いと安らぎのある住み良い都市環境の創出を目指し、『那覇市緑の基本計画』に基づき、緑のまちづくりを展開していきます。

計画の基本理念

これまでの取り組みを振り返るとともに緑を活かすという視野の広がりや新たな社会動向等を確認し、これまで同様、緑を守り、育てるという計画の根幹は、引き続き取り組むべき揺るぎのないものである。緑を介した協働のまちづくりを実践し、魅力溢れる亜熱帯庭園都市の形成を目指し、新たな基本理念「**みんなで守る・育てる・生かす！緑がつなぐ 亜熱帯庭園都市なは**」を掲げます。



緑の将来像

基本理念が実を結んだときの那覇のみどりの将来像を、次のように描きます。

- (1) 亜熱帯庭園都市の名にふさわしい、環境を活かした魅力的なまち
- (2) 緑を介していきいきした交流が生れるまち
- (3) 暮らしやすく持続性のある健やかなまち

計画の基本方針

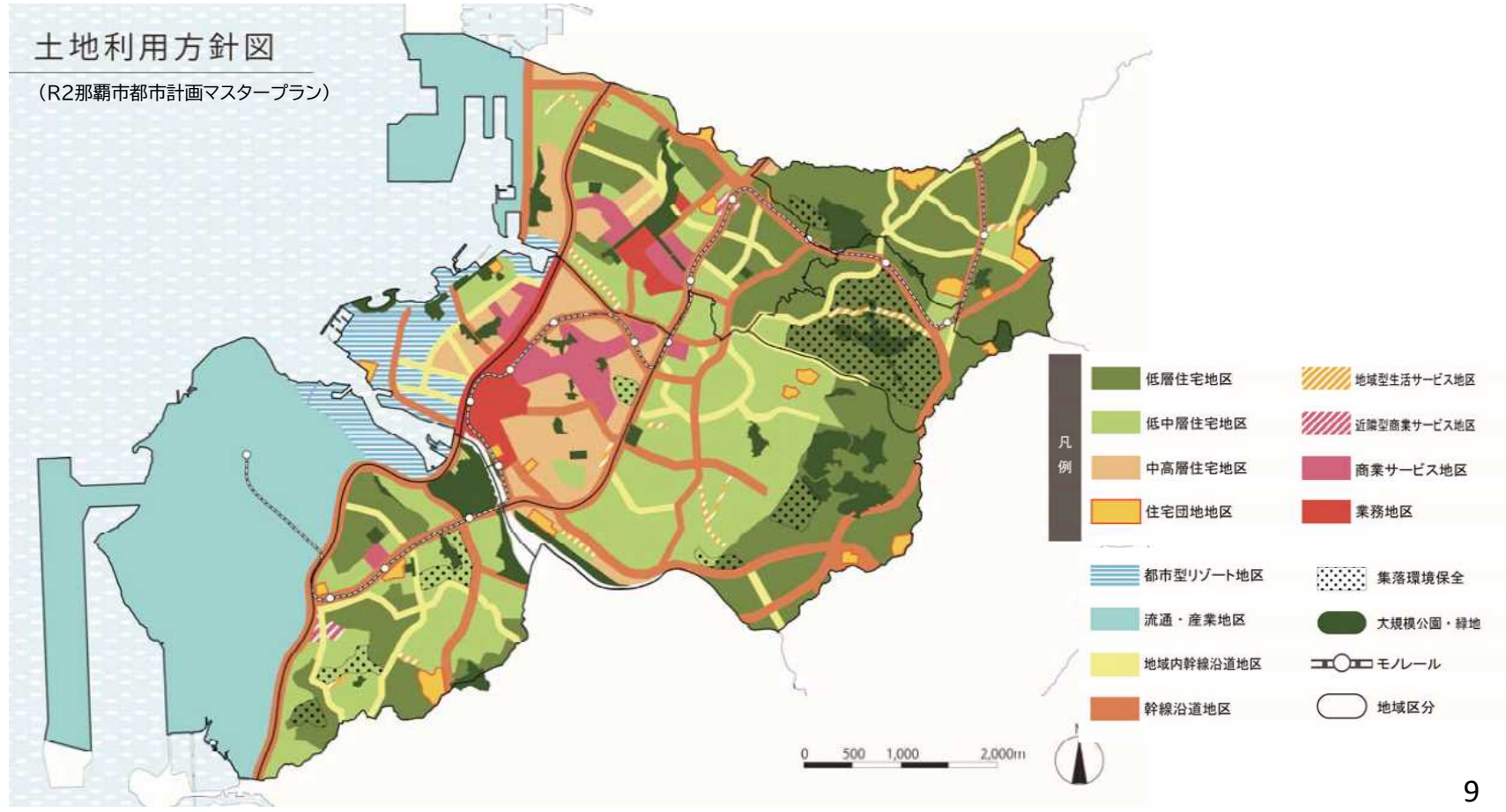
那覇市の目指す緑の将来像に向けて、具体的な方針を定めます。前計画が示した大きな方向性を受け継ぎつつ、これからの緑のまちづくりに向けた方針を定めます。

- A. 緑を守る**
緑の骨格を保全し、まちを緑と水で取り囲む
- B. 緑をつくり育てる**
緑と水のネットワークで、市内の緑をつなぐ
- C. 緑を活かす**
緑のオープンスペースを活用し、魅力あるまちをつくる
- D. 緑の絆をつなぐ**
緑のまちづくりを市民・事業者・行政の協働で進める

那覇市 4.那覇市の今後の土地利用の考え方

(1)土地利用方針

那覇市には、空港や港湾に近接し、交通の大動脈である国道に接した利便性の高い中心市街地、都市基盤が整備された新市街地、歴史的な環境や閑静な住環境が形成されている首里地域などがあり、コンパクトな市域の内に特徴的な市街地が形成されています。このような特徴を活かしながら、限られた市域を有効に活用するメリハリのある土地利用と快適で魅力的な都市生活の基盤となる土地利用を推進します。



那覇市 4.那覇市の今後の土地利用の考え方

(2)土地利用状況図

(H29都市計画基礎調査より編集)

※土地利用方針図と概ね近い土地利用がなされている。

